

# 景況調査回答企業の概要

(平成 21 年 6 月調査)

## 《 概要 》

- 6 月調査の回答企業の所在地では、「城東」の割合が 30.7%（前回平成 19 年 2 月調査 30.6%）と最も高く、「都心」が 16.6%（同 15.7%）、「城西・城北」が 15.9%（同 16.9%）である。業種別にみると、製造業と卸売業は「城東」、小売業は「城西・城北」、サービス業は「都心」の割合が最も高い。
- 創業年をみると、「昭和 30 年前」が 43.0%と最も高く、平成以降の創業は 7.6%にとどまる。卸売業と小売業は「昭和 30 年前」が 5 割を超える一方、サービス業は平成以降に創業した割合が 15.4%と比較的高い。
- 経営者の年齢をみると、「60 歳代」が 39.2%（前回調査 40.0%）で最も多く、「70 歳以上」が 25.7%（同 22.5%）で続く。小売業の「70 歳以上」は 35.2%（同 27.2%）と他業種と比べて高く、「60 歳代」の 37.1%（同 39.0%）とあわせると 7 割を超える。
- 後継者の状況をみると、後継者が「決まっている」は 41.0%（前回調査 39.7%）、「まだ必要ない」が 35.2%（同 26.7%）と続いている。小売業は「廃業予定」とする割合が 22.6%（同 26.2%）と高い。年齢別にみると、50 歳代では「まだ必要ない」が 57.2%と最も高く、次いで、「決まっている」が 22.1%となっている。70 歳以上では、「決まっている」の割合は 58.0%と高い一方、「決まらず困っている」が 14.4%、「廃業予定」が 18.9%と高くなっている。
- 売上高をみると、「1 億円以上 5 億円未満」が 32.3%、「3 千万円未満」が 16.0%を占める。小売業は「3 千万円未満」の割合が 34.6%と目立っている。

## < 回答企業数 >

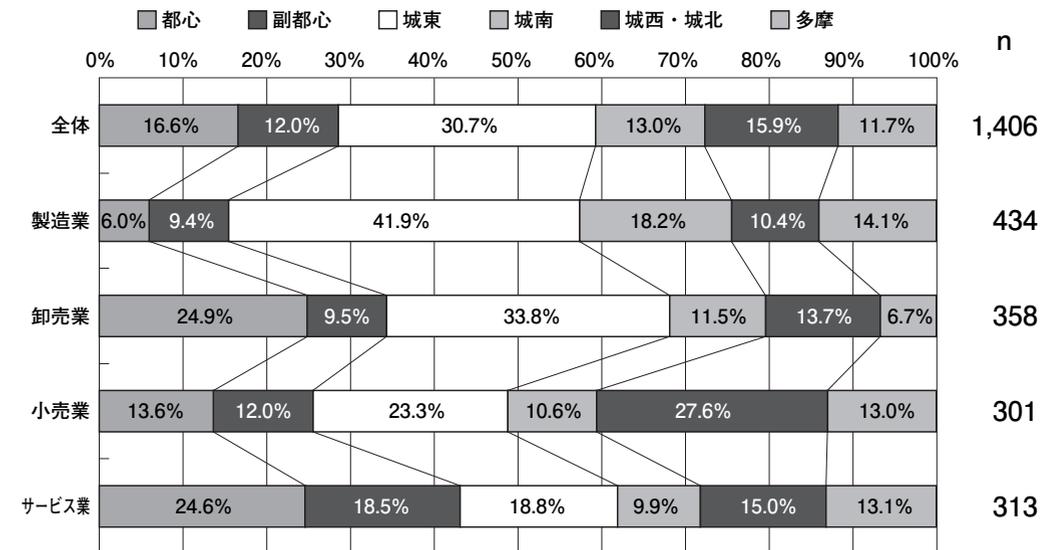
	対象数	回 答 数					
		計	小規模	中小規模	中規模	大規模	規模不明
全 体	3,875	1,406	482	322	341	248	13
製 造 業	1,125	434	138	85	105	100	6
卸 売 業	875	358	151	81	72	53	1
小 売 業	875	301	74	93	95	35	4
サ ー ビ ス 業	1,000	313	119	63	69	60	2

## 1 所在地

6 月調査の回答企業（以下の設問も同様）の所在地を地域区分（注 1）でみると、「城東」の割合が 30.7%（前回調査 30.6%）と最も高く、以下「都心」が 16.6%（同 15.7%）、「城西・城北」が 15.9%（同 16.9%）と続いている。

業種別でみると、製造業は「城東」が 41.9%（同 39.4%）と最も高く、次いで「城南」の 18.2%（同 19.1%）となっており、両地域で約 6 割を占める。卸売業も「城東」が 33.8%（同 36.3%）と高く、次いで「都心」が 24.9%（同 24.7%）となっている。一方、小売業は「城西・城北」の 27.6%（同 29.2%）と「城東」の 23.3%（同 22.1%）が高い。また、サービス業は「都心」の 24.6%（同 23.1%）と「副都心」の 18.5%（同 16.3%）が比較的高い。

図表 1 所在地



（注 1）地域区分

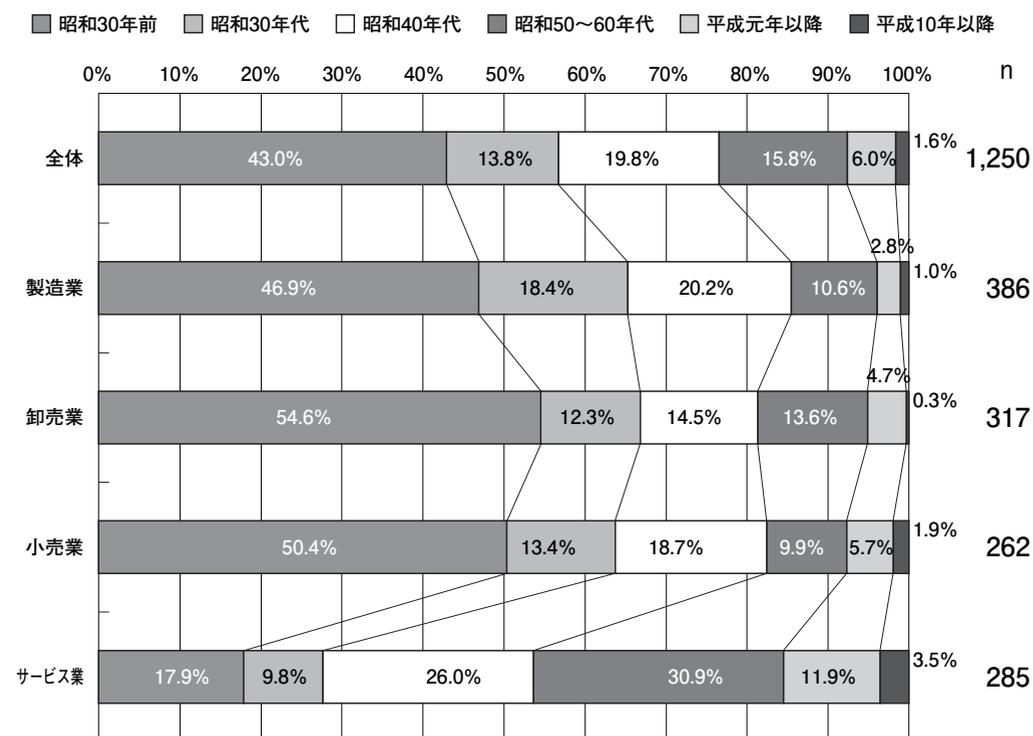
- ①都心（千代田、中央、港）、②副都心（新宿、文京、渋谷、豊島）、③城東（台東、墨田、江東、荒川、足立、葛飾、江戸川）、④城南（品川、目黒、大田）、⑤城西・城北（世田谷、中野、杉並、練馬、北、板橋）⑥多摩（多摩地域の市町村、島しょ）

## 2 創業年

創業年を全体で見ると、「昭和30年前」が43.0%で最も高く、「昭和40年代」が19.8%、「昭和30年代」が13.8%と続き、平成以降の創業は7.6%にとどまっている。

業種別にみると、「昭和30年前」の企業が卸売業（54.6%）と小売業（50.4%）で5割超、製造業（46.9%）では5割近くを占め、業歴の古い企業が多い。一方、サービス業では「昭和30年前」が17.9%と低い反面、平成以降に創業した企業が15.4%と他業種と比べて高い割合となっている。

図表2 創業年



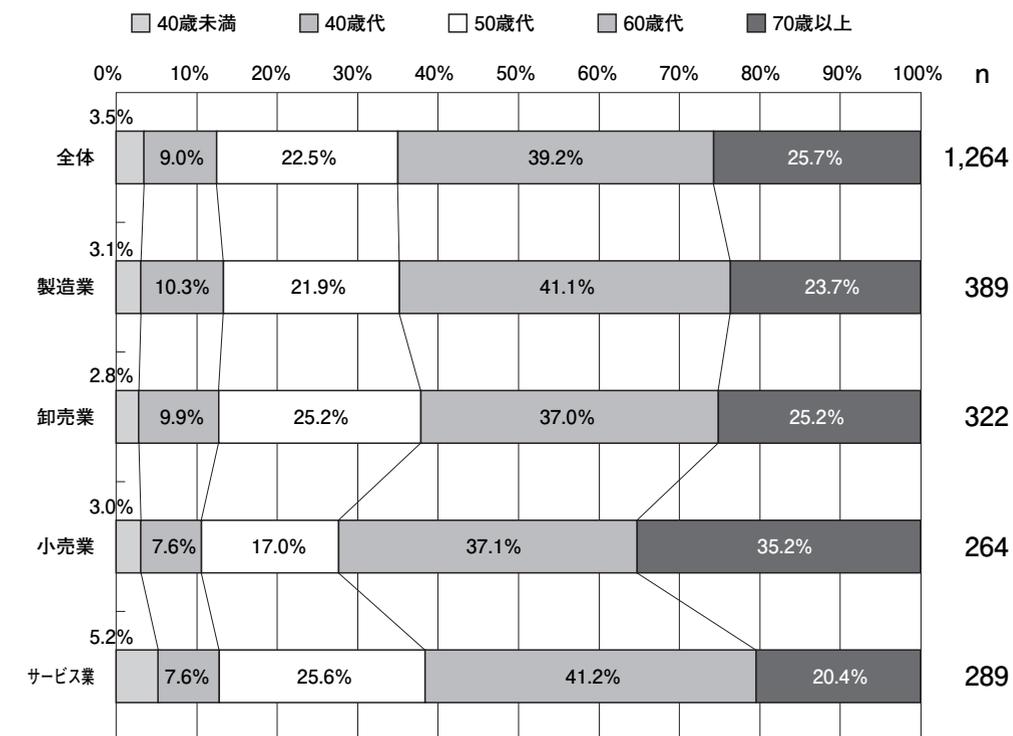
注) 無回答および創業年不明を除く

## 3 経営者の年齢

経営者の年齢を全体で見ると、「60歳代」が39.2%（前回調査40.0%）と最も高い。次いで「70歳以上」が25.7%（同22.5%）、「50歳代」が22.5%（同24.9%）と続いている。60歳以上の経営者が全体の6割以上を占める一方、「40歳未満」は3.5%（同3.2%）、「40歳代」は9.0%（同9.4%）と比較的低い。

業種別にみると、製造業、卸売業およびサービス業については全体の傾向とそれほど大きな違いはない。これに対し、小売業では「70歳以上」の割合が35.2%（同27.2%）と他業種と比べて高く、「60歳代」の37.1%（同39.0%）とあわせると7割を超える。

図表3 経営者の年齢



注) 無回答および経営者年齢不明を除く

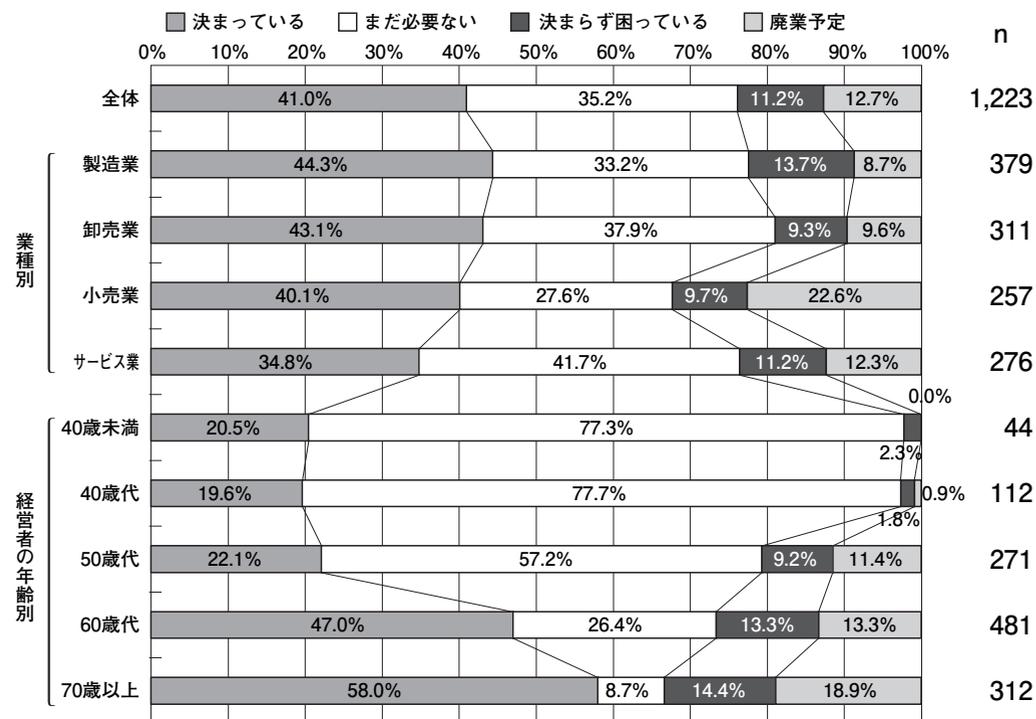
#### 4 後継者の状況

後継者の状況を全体で見ると、後継者が「決まっている」が41.0%（前回調査39.7%）と最も高く、「まだ必要ない」が35.2%（同26.7%）と続いている。一方、「決まらず困っている」は11.2%（同19.7%）、「廃業予定」は12.7%（同13.9%）となっている。

業種別にみると、製造業、卸売業およびサービス業については全体の傾向とそれほど大きな違いはない。これに対し、小売業では「廃業予定」が22.6%（同26.2%）と他業種に比較して高い割合になっている。

経営者の年齢別にみると、50歳代では「まだ必要ない」が57.2%と40歳代に比べて約20ポイント減少しているものの最も高く、次いで、「決まっている」が22.1%となっている。60歳代をみると、「決まっている」が47.0%であり、「まだ

図表4 後継者の状況



注) 無回答、経営者年齢不明および後継者の状況不明を除く

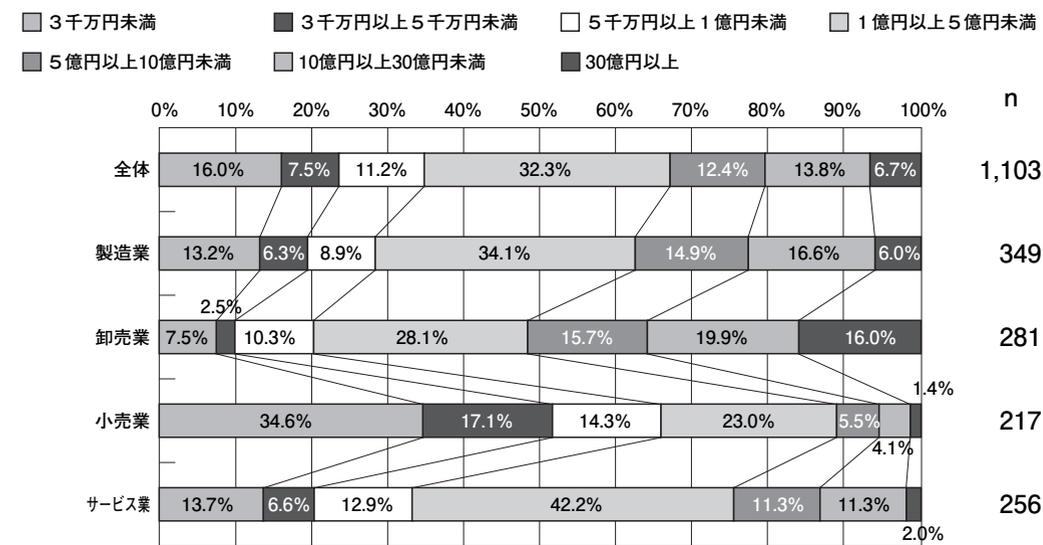
必要ない」26.4%が続き、「決まらず困っている」と「廃業予定」がともに1割を超える。70歳以上では、「決まっている」の割合は58.0%と高い一方、「決まらず困っている」が14.4%、「廃業予定」が18.9%と他の経営者の年齢区分に比べて高くなっている。

#### 5 売上高規模

直近の決算における年間売上高規模を全体で見ると、「1億円以上5億円未満」が32.3%と最も高く、「3千万円未満」16.0%が続く。「5千万円以上1億円未満」、「5億円以上10億円未満」および「10億円以上30億円未満」はそれぞれ約1割を占め、「30億円以上」は6.7%にとどまる。

業種別にみると、製造業、卸売業およびサービス業は「1億円以上5億円未満」が最も大きな割合を占める。卸売業は5億円以上が5割を超え、他業種に比較して売上高規模が大きい企業の割合が高い。これに対し、小売業は「3千万円未満」が34.6%と目立っており、5千万円未満で5割を超え、他業種に比較して売上高規模が小さい企業の割合が高い。

図表5 売上高規模



注) 無回答および売上高規模不明を除く